

キャリア教育の観点による評価シート

年 組 氏名

能力領域	キーワード	評価項目	場面における具体的評価項目	評価①	手だて(◇)及び評価項目の修正(▲▼)①	評価②	手だて(◇)及び評価項目の修正(▲▼)②	評価③	手だて(◇)及び評価項目の修正(▲▼)③	評価④	
I 人間関係形成 社会形成能力	協力・共同	自分の役割を理解し、協力できる。	指示に対し先頭に立って行動できる。遅い友達を待つことができる。	×	◇班単位の活動を増やす。	×	▼班ごとで行動することができる。	○		○	
		他者から教えてもらったり、教えてあげたりできる。	友達に教えてあげることができる。	○		○	◇班長に任命し役割を決める。	◎		◎	
		決まりや指示などを守り、必要など以外に人に口出し、手出ししない。	必要など以外に口出しをしない。	○		○		○		○	
		他者理解(自分との差異を認め理解する)	相手の運びやすい量をシャベルでだけみに入れることができる。	◎	▲人によって入れる量を変える。	◎		◎		◎	
	意思表示	自分の思いや意見を適切に表現する。	作業の感想を言葉で言うことができる。	○		○	◇作物の成長について意識できるような言葉かけを増やす。	◎		◎	
		報告、依頼、連絡、質問ができる。	出来上りを教師に報告できる。	○		○		○		○	
		声の大きさ、速さに気を付けることができる。	場に応じて適切な大きさの声で話ができる。	×	◇教師が適切な大きさを示す。	×	▼言葉で相手に伝えることができる。	○		○	
	場に応じた言動	相手の立場を考慮して話したり行動したりすることができる。	相手の状況を見て話しかける、必要であれば待つことができる。	×		×		×		×	
		丁寧な言葉遣い、挨拶ができる。	敬語を使って会話ができる。	×	◇丁寧な言葉遣いをその場で伝えていく。	×	▼報告、依頼の言葉を丁寧に言うことができる。	○		○	
		ふさわしい服装を選ぶことができる。	気候や作業内容に応じて衣服の調整ができる。	◎		◎		◎		◎	
	II 自己理解 自己管理能力	自己理解	「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。	「できる」ようになったことを次から一人で繰り返し続けることができる。	○	◇できたことを具体的な言葉で表す。	◎		◎		◎
			達成感や成就感を持ち、働くことに関心を持つことができる。	次時以降の作業予定を把握し、言うことができる。	◎		◎		◎		◎
作業結果を自ら確認し、責任を持って取り組むことができる。			結果を見てよくできたところを言うことができる。	◎		◎	▲具体的に言うことができる。	○		○	
自己理解(必要な技能が自分に備わっているか)判断できる。			できないことに対して援助の依頼ができる。	◎		◎		◎		◎	
自己調整		戸惑いや葛藤などに対して様々な選択肢の中からよりよい選択ができる。	疲れたときには自分から教師に伝え、対処できる。	○		○		○		○	
		自発的な選択ができる。第2希望を受け入れることができる。	不安になったとき落ち着くための手段を持っている。実行できる。	×	◇休んでよいことを伝える。	×	◇休むための場所を作る。	×	◇作業を選択できるようにする。	○	
		トラブルに対して対処法を身に付けている。	教師に困ったことを相談できる。聞いて実行できる。	◎		◎		◎		◎	
目標設定 自己選択		自分の決めた目標に向けて自分で解決しようとする意欲がある。	目標を具体的な数値で決めることができる。	○		○	◇石の数で作業量を示す。	◎		◎	
		自己の個性や興味・関心に基づきよりよい選択ができる。	本時の作業内容からやりたい仕事を手を挙げて選ぶことができる。	◎		◎		◎		◎	
III 課題対応能力	習慣形成	安全を理解し道具を扱うことができる。	鎌やくわを正しい持ち方で扱うことができる。	×	◇くわの持ち手の位置をテープで示す。	○		○		○	
		手洗い、うがいの必要性を知り、実行できる。	石けんで手の汚れている部分を丁寧に洗うことができる。	◎		◎		◎		◎	
		体力の維持増進が意識できる。	土ふるいをリズムよく振り続けることができる。	×	◇腕の動きかし方の見本を見せる。	×	◇教師とペアで行い、リズムをつかめるようにする。	×	◇より軽い土ふるいを作成、使用する。	×	
		時間を意識しながら取り組むことができる。	タイマーを見て自分で時間を把握することができる。	×	◇タイマーを見やすい位置で示す。	○		○		◎	
	社会資源の活用とマナー	地域社会で活動するためのしくみやルールを体験を通して身に付ける。	狭い通路では周りの邪魔にならないよう譲ったり、お願いしたりできる。	○		○		○		○	
		順番を守ることができる。決まりやマナーを守ることができる。	注意事項、禁止事項を伝え、守ることができる。	○	◇禁止事項を写真で掲示する。						
	金銭の使い方と管理	金銭の扱いに慣れる。おつりの計算などができる。	おつりの計算をして返すことができる。								
		販売をした物がお金に換わることが理解できる。	売り上げを計算して発表できる。								
	肯定的な自己評価	活動場面を振り返り、次の活動に生かすことができる。	前時の反省点を覚えていて目標として言うことができる。	○							
IV キャリアプランニング能力	情報の収集と活用	社会に興味を持ち様々な方法で調べて情報を得ることができる。	インターネットで作物の情報を調べることができる。								
		作った物を買ってもらう満足感を得ることができる。	販売の仕方、見栄えのよい袋詰めなどの工夫ができる。								
	役割の理解と働くことへの意識	自分の果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行する。	自分の担当する場所から離れず同じ仕事を時間内続けてできる。	×	◇ロープで仕切り作業範囲を示す。						
		集団の一員としての自覚を持つことができる。	列の先頭に並んで移動ができる。	○							
	夢や希望	将来の夢やこれがこれの職業を持つことができる。	卒業後どんな仕事をしたいか言うことができる。	◎							
	いきがいやりがいい	思う存分活動に取り組み、やり遂げようとしている。	自ら声をかけ作物の説明をしながら販売ができる。								
		好きな活動への意欲を様々な活動へつなげることができる。	苦手な草取りにも取りかかることができる。	×							
進路計画	自発的な態度で取り組むことができる。	自ら草の多いところに移動し取ることができる。	×	◇草の多いところを指し示す。							
	将来設計に基づき主体的に進路計画を立てることができる。	高等部での作業班について考え、希望を伝える。	○								

基礎的・汎用的能力をさらに細分化した内容を表すキーワード

左の評価項目を授業の中での場面で評価するか個別に設定

キーワードより具体的な内容

基礎的・汎用的能力
・人間関係形成・社会形成能力
・自己理解・自己管理能力
・課題対応能力
・キャリアプランニング能力

評価会での評価
◎・・・一人でできる
○・・・一人でできることもある
▲印はねらいをより高いものに修正
▼印はねらいを低く修正

◇印はねらいの達成のための手だて
▲印はねらいをより高いものに修正
▼印はねらいを低く修正